

上尾市学校施設更新計画基本計画 地域説明会

日 時	令和3年7月10日(土) 13:30~16:30
場 所	平方公民館 集会室兼体育室
参加人数	37人
意見・要望等	
事務局	【上尾市学校施設更新計画基本計画について説明】
参加者	学級の定員は35人で計算しているかと思うが、長い間、国民的な定員要求は署名などで30人として国会に提出されている。2030年、2055年と、35人学級で続いて行き、30人にならないと考えているのか。
教育総務課長	現状は国の法律に基づき35人学級として計画しているところだが、例えば、30人学級への法律の改正や、その他の国の教育施策の大きな変革があった場合は、計画やコストを考え直さなければならないと考えている。
参加者	もし変われば検討するとのことだが、適正な学校の学級数は5人違うとかなり変わってくる。ひとつの小学校に300人いて、それが30人学級になったら、学級数が大分変わってくる。そういうこともあるので、国の方が変わってくれば見直すということで、変更が出なければ見直さないということか。
教育総務課長	現在のコストシミュレーションでは35人学級にプラスして余剰の教室を含めた形でシミュレーションを行っている。仮に30人学級になった場合は、教室を増やしてシミュレーションを見直すことになる。
参加者	平方地区は歴史がある。 今回、平方小学校がなくなってしまうということで、相当な距離を小学校1年生が歩いて学校に通うことになる。交通機関の危険性もすごく心配している。 まちづくり協議会では、今年度より「住みよいまち平方」ということで、なんとか少子高齢化のまちを脱却して、住みたくなるようなまちにしようということで、いろいろな各種団体に呼びかけ

	<p>て、どうしたら住みやすくなるのか検討中である。 それに対して逆行するような案なので、まち協としてもこれから検討を重ね、意見をまとめて、反対するのかどうか検討していく。</p>
教育総務部長	<p>まだ決定していないが、平方地区についていろいろ心配な気持ちがあるのは良く分かる。 今後、説明会についても、1回という訳ではないので、いろいろと意見交換をさせていただきたいと考えている。 一方通行な形で進めていくということは考えていないので、引き続き、皆様の意見をいただければと思う。</p>
参加者	<p>地域の方や保護者の方にはいろいろな思いがある。 もともになる学校が移転したり、消えてしまったりすることは、心の故郷がなくなってしまう。 (検討協議会の)1年目、2年目でだいたいの方向性が決まってしまうのか。青写真が決定してしまうと、その後の動きというのは、ハイスピードでどんどん行ってしまうように感じる。 2年目まで動きと、3年目に結論となってしまうのか、この辺りの歩みについて質問する。</p>
教育総務課長	<p>資料55ページの検討協議会の流れだが、STEP1から4までを5年間で考えている。 2年目にはある程度の方向性をと考えているが、まとまらない場合は3年目に突入となる。 また、当初の予定では、この説明会を開催して、9月に検討協議会の立ち上げを考えていたが、いろいろな意見をいただき、本計画の周知をもっとした方が良いとの意見もいただいたので、9月立ち上げの予定はない。 2学期になるが、市内33校全ての学校に回り、保護者向けの説明会を開催したいと考えている。それと並行して、教育委員会でも再編案について意見を踏まえてうえで協議し、改めて地域の皆様に説明する機会を設けたいと考えている。 検討協議会のスタートは遅れることになるが、意見をいただきながらより良い形の学校をつくっていきたいと考えている。</p>
参加者	<p>ひとクラスの人数が35人とあったが、必ずしも適正人数である</p>

	<p>とは思っていない。できれば30人学級、小学校の低学年であればもっと少ない人数でやった方がきめ細やかな指導ができるし、子供に寄り添った教育もできるのではないかと思う。</p> <p>国の基準に従うことなく、上尾独自で、若い方たちを上尾に呼び込むためにも。そうすれば税金も増えるし、市も潤うと思う。</p> <p>小中学校のいじめ問題があるが、3月議会の時に平成30年度は小学校110件、中学校87件、合計197件。令和元年度は小学校320件、中学校115件、合計435件。令和2年度は、これは1月時点で、小学校414件、中学校100件、合計514件あった。</p> <p>学校が統廃合されて、児童数が増えたり、クラス数が増えれば見えないいじめの数が増えると思う。</p> <p>P T S Dや適応障害を引き起こす要因にもなりかねない。</p> <p>子供たちを守るためにも、大きな学校にしたのでは先生たちの負担も増えるし、少人数学級、35人よりも少ない学級できめ細やかな教育をこれからやっていただきたいのが願いが、いじめとかそういう問題について、統合を考える会議で話し合いをしたのか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>この計画を策定するにあたり、いじめを減らす具体的な話はしていない。子供を第一に考えなければいけないので、いじめが発生しないよう、発生した場合でも対処できるような形で計画を考えていかなければならないと思う。</p> <p>30人学級についてだが、上尾市では以前、市独自の判断で30人程度学級を導入していた。現在は国の基準に基づいた配置となっていて、この計画についても国の基準に基づいて計画をしている。</p> <p>仮に市独自で30人程度学級を導入するとのことであれば、予算を確保した上で計画に反映していかなければならない。</p>
<p>参加者</p>	<p>事前の打ち合わせはなかったとのことだが、やはり子供たちに一番関係してくることである。</p> <p>通学の危険やいじめの問題、そこに生きている子供たちがいる訳であり、このことを先に考えないと、学校教育は成り立たないと思う。そういうことを考えないで学校をなくすことはおかしいのではないかと思う。</p>

<p>参加者</p>	<p>1点目だが、1月にパブコメの募集をし、420件の意見の中で一番多いのが、「少人数学級を希望する」が62件、「通学時間・通学路の安全についての不安」が51件あった。「防災拠点はどうなるのか」が32件あった。この3点について、計画の中にどの様に反映されているのか伺う。</p> <p>それから、平方地域は統廃合で新しい小中一貫校という流れがあるが、子供の数について2020年は小学校3校と中学校1校で、1,026人、2030年は1,029人ということで、ほとんど変わらない。横ばいであって、激減しない。子供の数が一番最高だったところと比較すると半減しているが、半減した後は横ばいである。</p> <p>そういう中で、少人数学級を是非実現してほしいと思う。</p> <p>建物についてだが、数年前、上尾の中央図書館を上平に移転との案があったが、複合化するという中で、図書館のスペースが減って、青少年センターを入れるということで、この案は潰れた。</p> <p>そういうことから言って、建物はまだまだ使えるところいっぱいあると思う。</p> <p>例えば廃校対象の学校だが、平方北小は1976年に平方で一番最後につくられた学校である。</p> <p>それが30年から32年の時にもう統合するので、そういう一番新しい学校も潰してしまう、教育の機能をなくしてしまうのはどうかと思う。平方東小も給食室を除けば全て延命化できる。</p> <p>そういう中で、統合の対象になるのは納得できない。</p> <p>廃校にしてほしい声がどこにあったのかを教えてください。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>仮に学校が統廃合になった場合が前提になるが、通学路については、地域や学校の方と意見交換をしていきながら話を進めていく。</p> <p>防災についてだが、学校の施設は指定避難所ということで、学校再編によって避難所機能が損なわれることのないよう、有効活用については地域住民の方の意見を伺いながら関係部署と協議していきたい。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>2点目の人口減はしないのではとのことだが、国の機関である社会保障人口問題研究所の数値を使っている。</p>

	<p>それによると、2030年には減少していくという数字が出てきている。ただし、社会情勢が変わり、宅地の開発などが進み、人口の増加が見込まれる場合には、数値については見直していかなければならない。コロナの関係で出生数は今年度から減っている状況であるが、変わる数値については加味しながら検討を進めていきたいと考えている。</p> <p>平方北小についてだが、建築は1976年である。建物の状況は健全であり、延命化が可能である。しかし、小学校の児童数を見ると、6学年全て1学級並行となっている。</p> <p>教育委員会としては適正規模、各学年複数学級が良いと考えて計画を進めている。これを踏まえ、統合した形でシミュレーションして示している。</p> <p>ただし、建物については仮に再編となって、子供たちがいなくなった場合でも更地にしてしまうということはなく、使える建物については、避難所としての機能も当然必要である。使える建物は有効活用し、行政からこれに使うと示すのではなく、地域の皆様が何を必要としているか、意見を聞きながら新しい形で活用していきたいと考えている。</p>
参加者	<p>人口減少の件だが、何も手を打たなければ少子高齢化なので減っていくと思う。この平方を再生して、子供たちを呼び込むような、発展的な地域にしたいとの声があった。</p> <p>上尾には子育て世代が住みたくなるような政策が必要である。適正規模だが、12学級ないとだめなのか。6学級から11学級が全国的には一番多い。</p> <p>隣のさいたま市の馬宮西小学校は全校で91人しかいないが、それでも地域に必要な学校として残っている。</p> <p>上尾市の考える12学級以上でなくて、6学級から11学級の学校も残すという案があっても良いと思う。</p>
参加者	<p>「子育てをするなら上尾」といったキャッチコピーは、上尾市の大きなブランドになっていると思う。</p> <p>その中でも自校方式の給食はどこの市に対しても自慢ができると思う。</p> <p>統廃合の問題は子供の視点に立つ、子供ファーストの視点に立って、温かいものでないといけない。説明を聞くと、箱物であると</p>

	<p>かハードのイメージがある。</p> <p>1989年に国連で採択された、「子どもの権利条約」には、「子どもの最善の利益を保障する」とある。</p> <p>自校方式の良さはたくさんあり、栄養士が職員でいること、安心安全な地元の食材を使うこと、豊かな食育がつかれること。子供は食べることを大好きで、喜んで食べる子供の姿を見て職員も誇りをもって働くことができる。</p> <p>自校方式をこれから民営化や民間委託、民間資金活用事業の中でなくなっていくとは思わないと思う。</p> <p>地域住民の避難場所になる学校の体育館は、もし何か起きた場合、温かいものが供給できる。自校方式であれば、簡単なものが作れる。</p> <p>いじめについては、東久留米市の統廃合を進めた学校での問題点としては、子供のいじめ、身的外傷が増えてきた。こういうことも含めて、勉強していただきたい。何が子供の幸せに繋がるか大事に考えて欲しい。学校、子供は商品ではない。</p> <p>憲法は、中央政府などによって、地方自治体が侵されることのないように守っている。上尾市の統廃合計画は、中央から侵されているのではないかと思う。</p> <p>地方自治法で、住民の福祉を図ることを基本としているということ、住民の福祉とは住民の幸福である。住民の幸福、子供の幸福、市民全体の幸福を守る方向にこの統廃合計画があるのかどうか、原点に戻って考えてほしいと思います。</p>
教育総務部長	<p>給食の問題、地域の避難所についてはこれから検討していかなければならないと思っている。いじめの問題に関しても、本計画の中で議論できればと考えている。</p>
教育総務課長	<p>給食室についてだが、コストシミュレーションにあたっては、Aのプランには、給食室は入っていないが、B、Cのプランについては、小中学校を自校方式でコストを考えている。</p> <p>どのような給食の提供の方法が良いのか、教育委員会として令和5年度までに議論して決めていきたい。</p> <p>議論にあたっては、皆様の意見を反映していきたいと考えており、今後意見を伺っていきたい。</p>

参加者	<p>説明は施設マネジメントという言葉ばかりで、子供や教育など、そういう言葉がほとんどでてこない。そこは違うのではないかと思う。</p> <p>5月に、萩生田文科大臣が「35人、これはやります。その後30人に向かうんです。」と発言している。今35人で行っているシミュレーションを、30人ですぐに行ってほしい。</p> <p>30人になって建物が足りない、もっと人が増えるような状況は見過ごせない。</p> <p>私は、中学校、小学校では11クラス、8クラスであったので先生の目が行き届かなかった。校舎はプレハブで育った。</p> <p>本当に終わりである。</p> <p>人が多ければ良い、人が少なければ良いということではない。</p> <p>先生の目が一切ないので、隠れて何でもできた。</p> <p>その様な状態にしてほしくはない。</p> <p>いじめ問題でも、先生たちが直に感じるができなかったら、学校に居て面白くなる。</p> <p>30人学級の話はすぐに出てくるので、早急にシミュレーションしてほしい。それこそが、施設マネジメントである。</p>
教育総務課長	<p>30人学級のシミュレーションを行い、公表していきたいと思う。</p>
参加者	<p>学校は心のふるさとである。幼少期を過ごし、そこで先生や友達と切磋琢磨し、悩んだり、悲しんだり、人生を経験するところであると思う。</p> <p>なぜ上尾市はこの様な計画をしたのかと思う。</p> <p>この基本計画は、市の公共施設等総合管理計画で公共施設を40年かけて35%減らささい、それに基づいてこの基本計画が決められていると聞いた。なぜかという、総務省が2014年に、地方自治体をできるだけ小さくして、市民サービスもできるだけ小さくして、お金のかからない自治体にしようという意図があって、各市町村に公共施設マネジメントをつくるようにした。</p> <p>上尾市の行政経営部だが、福祉のことをしていかなければならない地方自治体に、どうして経営的な考え方が入ってくるのか驚いた。そこには財政課、税の3課、それと建設をマネジメントする施設課を集め、今回の策定をしてきた。</p> <p>ふるさと財団という総務省の下請け機関が、総務省の施設計画の</p>

	<p>方で進める募集した。それに上尾市は手を挙げた。全国で応募に手を挙げたふたつの自治体のうちのひとつが上尾市である。</p> <p>モデル事業応募の資料には、市町村があり、民間企業との連携、地元大学との連携と書かれている。民間企業との連携には、八千代エンジニアリングという民間企業が入っていて、既に去年、一昨年とそこに委託して2, 100万円ほど払っている。地元大学の連携は、地元ではない文教大学の葉養教授、この人は、全国で統廃合計画を進める先頭に立っている人らしい。</p> <p>そういう人達に相談して、今度の上尾の基本計画が作られている。</p> <p>この中（モデル事業応募の資料）には、「他の市町村で一般的に行われている取組みではなく、民間活用の新たな取組みなど先進性のあるものである。庁内体制、民間企業、大学等との連携がされており、事業目的を達成できる実現可能性の高いもの」と書かれている。市は、上尾市民をどう説得できるかに変わってきている。</p> <p>統廃合計画は撤回してもらいたい。</p>
教育総務部長	<p>本計画は、人口急増期に整備した多くの学校施設が老朽化してきて、施設の建て替えの時期が来ている状況、その当時の児童生徒の数と比べ現在は半数程度になっている状況を踏まえ、新たな教育環境、施設・設備について考える時期であるということで計画した。</p> <p>人口減少社会、労働者人口の減少の中、持続可能な教育環境づくりということを目指して進めていきたいと思っている。</p> <p>皆様からいろいろ意見をいただきながら、この計画を進めていきたいと思う。</p>
参加者	<p>令和3年3月に改訂された公共施設等総合管理計画に、小学校中学校の個別施設計画があると思うが、内容を教えてほしい。</p>
教育総務課長	<p>上尾市公共施設等総合管理計画の下位の上尾市個別施設管理基本の中で、小中学校は個別で再編計画を策定するようになっている。これに基づいて策定したものが本計画である。</p>
参加者	<p>学校問題はまちづくりと直結していて、学校がなくなるとまちが</p>

	<p>なくなる。今、全国であたり前のように起きている現象である。平方小学校は地域の拠点であると思う。</p> <p>平方は地味だが人口は余り伸びない。しかし、減りも少ない。まちづくりの会議では、自治会長をはじめ、地域の有力者、有識者が集まりまちの将来を考える会である。</p> <p>ぜひ、平方小学校を残す方向で、教育委員会が我々に協力してほしいと思う。平方小学校廃止は100%皆さん反対である。</p> <p>プールの問題だが、3年前に韓国でフェリーが中学生300人ほど乗せて沈没した。レスキューは助けることができず、全員死亡した。</p> <p>韓国ではプールは20%ぐらいしかないようである。日本は80%から90%であり、80%以上の日本との差である。80%以上の日本であれば、300人全員助けられたと思う。</p> <p>是非プールを大事にしてほしい。</p>
教育総務課長	<p>今回、市が示したものは財政上のシミュレーションの案である。地域の実情や歴史、コミュニティについて、どの様な形が良いかということをご様から意見をいただき考えていく。</p> <p>丁寧に意見を聞きながら、どの様に意見を反映していくか考えながら進めていく。</p> <p>プールの問題に関しては、1校プールつくると約3億円かかり、毎年度の水道代などランニングコストがかかってくる。</p> <p>市としては、プールをなくすことだけを考えているのではなく、例えば、民間プールを活用したり、市内のどこかにプールをつくって学校間で共有していくということも考えている。</p> <p>今、教員の働き方改革において、教員の負担ということもある。教育としてのプール指導が大変なところもあるので、意見を踏まえながらプールのあり方についても検討し、今年度中に方針を決めていきたいと考えている。</p>
参加者	<p>資料25ページのアンケートだが、適正規模中学校68%に赤字、適正規模小学校71%に赤字となっている。</p> <p>大規模中学校63%、大規模小学校64%から、教員は大規模校を求めていることが分かる。</p> <p>この部分に赤字を入れるべきと思うがどうか。</p>

教育総務課長	修正する。
参加者	<p>日本の今のクラス平均の28.8人、世界的には21人と、現在の35人学級より大分少ない。</p> <p>教員に対する各地のアンケートを見ると、先生の方々の希望人数というのは、21人から25人に約50%、26人から30人に約30%、30人以下であると教育しやすいというのが約80%である。</p> <p>現在平方小は3つの学校があるが、先生や住民の希望からいうとかなり理想的な教育をしていると思う。</p> <p>この3校が統合されると教育の資質が下がっていくと心配されるがどうか。</p>
指導課長	<p>教育の資質だが、小規模校にはメリットデメリットがある。</p> <p>適正規模というところで、12から18学級では教員の数も多くなるが、教員については、一人一人の指導力を上げるために学校や教育委員会において、資質向上に努めており、その努力は今後もしていく。</p>
参加者	<p>教員の努力ではどうにもならないと思う。</p> <p>アンケートでは、できないと教員の意見が出ている。</p>
指導課長	<p>教員ひとりあたりの児童生徒が多くなってしまふことについてだが、小さい規模の学校であっても、大きい規模であっても、現在小学校1年生と2年生は1学級35人で編成されている。</p>
参加者	35人という数字は文科省からか。
指導課長	<p>そうである。</p> <p>標準法の定数で、小学校1年生、2年生は35人、小学校の3年生から6年生、中学校1年生から3年生は40人で編成されている。この後、小学校は段階的に35人に移行していく。</p>
参加者	<p>それは学級編成のデータであり教育の資質のデータではない。</p> <p>もう少し教育の資質に対するデータを研究したほうが良いと思う。現在、教育の資質に対する研究はしていないとのことか。</p>

指導課長	規模に関わらず、資質の向上に努めている。
参加者	<p>もっと勉強していただきたい。</p> <p>平方地区は平方小、平方東小、平方北小が一つになって、太平中学校との小中一貫校にするとの計画であると思うが、小中一貫校はメリットデメリットがかなりいろいろあるという声があがっている。</p> <p>デメリットは、小学校6学年と中学校3学年の9学年が一つになって、一つの校長先生、一つの校舎、一つのグラウンド、一つのプール、一つの時間割ということで、小学校1年生、2年生、3年生が中学校3年生のスケジュールに合わせる、20分休みがなくなって10分休みになってしまうなど、9学年が一つになって学校の範囲が窮屈になるということがあげられている。</p> <p>5年生、6年生がリーダーシップを発揮できない、自己肯定感が持てないという様々なデータが出ている。</p> <p>小中一貫にするメリットはあるのか。</p> <p>もしメリットがあれば、どれぐらいの補助金が国からでるのか。</p>
教育総務課長	<p>今回は平方東小と太平中の2校分の大きな敷地があることから、小中一貫一体校として再編案を示した。</p> <p>しかし、小中一貫教育を導入するかに否かについては決定していない。今後は先進都市の調査を行い、市としての小中一貫教育の方向性を令和4年度までに決定していく。</p> <p>また、地域の議論の中でも、どの様なかたちの学校が良いのか、小中一貫校が良いのか、それとも今までの様にふたつの学校が並列したかたちが良いのか、地域の皆様の意見を聞いて考えていきたい。</p>
参加者	<p>財源が減っていく中で、施設更新計画の話がでることはしょうがないと思う。</p> <p>小規模校と大規模校を両方経験したが、個人的には大規模校の方が過ごしやすかった。仲の良い友達も見つけられた。</p> <p>反対ではなく、どちらかと言えば、長い目で見ると賛成である。各学校を回って説明するとのことだが、小学生は10年後には高校生であり、この話についてはほとんど関係ない、当事者意識が</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>薄れるのかなというところなので、保育所とか幼稚園には積極的に周知されているのか。</p> <p>確かに、学校が建て替えになるのは10年先になるので、下のきょうだいがいない保護者には関与してこない部分もある。計画策定にあたり、平成29年度は、現在の教員と保護者、昨年度は未就学のお子さんを抱える保護者に無作為抽出でアンケートを実施した。</p> <p>実際に利益や利害を受ける方々の意見も聞かなければいけないということで実施したが、今後も、未就学児の保護者の皆様の意見を踏まえないといけないと考えている。</p> <p>検討協議会のメンバーで、どの様な方を優先するかということについて検討していく。</p>
<p>参加者</p>	<p>大石南中では、計画について教職員組合で知ったが、学校では周知されなかった。2週間ほど前、校長だよりで知ったが、働いている教員は学校がなくなると説明がないまま納得できるのかと思う。</p> <p>これは計画であるので、決まってないということで良いのか。見直す場合は現場の教員の話聞いてほしい。働いている先生は良く知っている。プールの話も、小中一貫の話もこうしたら良いと案を持っている先生がたくさんいる。</p> <p>例えば、大石中学校はプレハブ校舎があり、校庭も小さいが、大石南中の方が部活はしやすい。合併されてしまった場合、部活動の場所はなくなる。特別教室も少ないし、エアコンがない。</p> <p>集会も大規模で、コロナ禍では難しい。</p> <p>コロナ禍でやっていく中、大規模で本当に大丈夫かなという不安を皆が持っている。このまま進んでいくと大変であると思う。</p> <p>メリットデメリットをあげて、どう解決するのか説明しないと説得できないと思う。</p> <p>教員のアンケートでは、中学校の希望は4、5、6クラスである。7、8クラスは2%であり、なぜ8クラスの学校をつくるのか疑問である。</p> <p>大石中学校は、2055年785人で7クラスである。太平中学校は少ないので学校でギャップがある。</p> <p>例えば、大石南中は少ないので、大石中から学区編成で、大石南</p>

	<p>中5クラス、大石中5クラスが良いのではと、現場の先生たちからの声大きい。</p> <p>質問1点目、再編案は決定ではなくて、見直しの方向性があるかどうか。</p> <p>2点目、統廃合のメリットデメリットや解決策を具体的に出し、教員と一緒に検討することがあるのか。</p> <p>3点目、アンケートにそぐわなかったのはどうしてか。計画の議論の中に、八千代エンジニアリングは今後でてくるのか。</p>
教育総務課長	<p>国の教育施策の大きな変化、人口が増えるかもしれない、そういった社会情勢の変化の際、計画について見直しをしていかなければいけないと思っている。基本計画は大枠を示したものであるので、適宜対応していく。</p> <p>メリットデメリットを示してほしいとのことだが、メリットデメリットをしっかりと検討し、提示していく。この後の検討協議会の中でも、課題について地域の皆様から意見をいただいて、対策を打つことを考えている。</p> <p>教員の意見だが、今後、広く意見聴取したいと考えている。先生方にはアンケートで意見聴取することも考えている。</p> <p>八千代エンジニアリングは、計画の作成支援業務として、指名競争入札の結果、2年連続で落札した業者である。</p> <p>今後、会議の推進支援事業について、入札を行う予定であるが、八千代エンジニアリングを指名するかは決定していない。</p>
参加者	<p>八千代エンジニアリングとの打合せ記録はみられるのか。</p>
教育総務課長	<p>情報公開請求できる。</p>
参加者	<p>学童について、確かに子供の数は昔より減っているが、学童に預けたい親、行っている子供は増えている。</p> <p>学校の敷地内に学童を移転というかたちで進めていると思うが、学校施設の中に学童をつくることを考えると、その予算は更新計画に入っているのか。</p> <p>また、学童はNPOが運営しているが、NPOとの協議、学童をどうするか伺う。</p> <p>また、給食室の話の中で、中学校も自校式で検討しているとあつ</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>たが、中学校の自校式は具体的にどうなっているのか。 意見だが、平方の地域から幼稚園がなくなる時に、地域の皆さんは憤慨していた。これで平方小学校もなくなると思うと、100%認められないと思った。 地域コミュニティの核である平方小は絶対なくすべきではない。施設では、上尾は公民館が人口に対して少ないと聞いている。複合施設をつくるのであれば、小学校と公民館、公立の幼稚園や保育所、図書館を充実させるなど、そういったかたちで小さくても良いから、充実した施設があれば、子育てしやすい。 上尾市の人口を増やす観点を持って計画を進めてほしいと思う。</p> <p>学童の関係だが、学校敷地内に学童がある学校は17校ある。学校更新では、基本的には学校施設内に学童を入れることになると思うが、学童の予算はコストシミュレーションに含まれていない。 現在は1学校に1公立学童を設置するかたちであるが、統合する場合は、人数等の状況にもよるが、担当の青少年課と協議していく。 2つ目の中学校の自校給食の話だが、コストシミュレーション上は小学校、中学校共に自校式で計算している。 自校方式が一番高いコスト計算であるのでそのようなかたちで計算している。 現在の中学校給食はセンター・サテライト方式である。 中学校共同調理場の施設も、いずれ耐用年数を迎えるので、学校施設全体の更新計画において、中学校にも自校方式の選択をした場合に実行できるといった、長期的な視点で計画をしていくということと考えていかなければなりません。 小学校、中学校の給食の提供方式については、令和5年度中に方針を決めたいと考えている。 皆様の意見を踏まえたかたちでこの地域の学校のあり方を考えていかなければならないので、皆様の意見を踏まえながらしっかりと、丁寧に考えていきたいと思う。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>学童の関係でNPOとの協議という質問だが、具体的な協議は行っていないが、本計画策定にあたり市内の会議体を設けたが、その中に学童を所管する子ども未来部青少年課も入り、いろいろ検</p>

<p>参加者</p>	<p>討を進めてきたという経緯がある。</p> <p>ハザードマップでは、平方地域は相当数水没する。 そういう点でも、この学校の施設が避難所としてしっかり機能してもらわないと、安心して住んでいられない。 平方は荒川に隣接していて、他の地域と違うので、そこは特別に考えてもらえないと困る。 避難施設をどうするか検討しているのか。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>この計画の策定にあたっては、先ほど話した庁内の会議体の中で、防災関係の部署である危機管理防災課が入り、いろいろ検討してきた。 指定避難所の役割ということで、今後、具体的にいろいろ協議していきたいと思う。</p>
<p>参加者</p>	<p>まだ検討していないのか。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>機能を残すとの方針はでている。</p>
<p>参加者</p>	<p>避難所として残るのか。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>避難所の機能を残すということである。</p>
<p>参加者</p>	<p>本日の説明会で、今現在の大きな方向性と大枠があることは分かった。要望だが、今後進めていく検討協議会の協議の時に、現役の先生を入れてほしい。 子供のことを一番良く分かっているのが現場の先生である。先生の意見を反映してほしい。 今後の学校説明会で出す資料は、いろいろな質問や意見が出たので、それを文章化して知らせてほしい。メリットデメリットを具体的に、分かりやすい観点で作ってほしい。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>この後進めていく検討協議会は、各学校 33 校の説明会や地域で話をした上で、各エリアで立ち上げていきたいと考えている。 学校説明会で説明する内容は、基本的に本日の内容となるが、意見をいただいた分かりづらい部分はブラッシュアップし、分かり</p>

	<p>やすい形で説明していきたいと思う。</p> <p>議事録は、市のホームページの方で掲載する予定である。</p> <p>検討協議会のメンバーは、資料の中では地域、学校、保護者というかたちで、学校の方は学校長、地域の方は自治会長、保護者の方はPTAや学童になるかと思うが、各エリアの中で相談をさせていただきながら、どのような方が適切なのか、校長よりも現役の先生が出た方が良いという意見があれば、そのようなかたちで進めていきたいと思う。</p>
<p>参加者</p>	<p>地頭方は道が狭い。</p> <p>今度は平方小がなくなって平方東小になると4キロになる。</p> <p>道路が整備されていないのに学校が遠くなるのは信じられない。</p> <p>子供の安全を考えているのかどうか。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>道路の整備、子供の通学路の安全確保ということだが、子供たちが安全に通学できる環境整備は必要であるので、いろいろなかたちで協議して決めていきたいと考えている。</p>
<p>参加者</p>	<p>子育てするなら上尾が良いと聞いて、結婚した時に引っ越してきた。</p> <p>平方東小学校の人数が増えてきて、やはり住宅地が開発されると子供の人数がこんなに変わるのかと思ったが、平方東小は10年後ぐらいには380人と結構な人数になるし、平方小学校もそれほど減らないと思うので、これを無理やり小中一貫校にすることに心配している。</p> <p>人間の集団は150人から200人がちょうど良い大きさという研究があるようである。一人一人の人間関係が、それ以上になると、よく分からないとなる。</p> <p>再編後の2055年に850人の学校になるが、器だけ変えるのはやめたほうがよい。器を変えることによって中身をどうするかとの議論がとんでしまう。</p> <p>建物をどうするか、マネジメントをどうするかという話になっているので、子供たちにとって一番良い環境を与えるべきだと、それは未来の上尾市をつくるためでもある。</p> <p>今、財政が厳しいのでひとつにして効率化しようとの発想だろうが、住民と共に話し合うことによって、協力するので住民と一緒に</p>

	<p>につくっていききたいと思う。 小中一貫教育をこれから検討することだが、それが本当に良いとは思わない。</p>
教育総務部長	<p>市としても、箱物といった視点ではなく、子供の教育といった視点で、新しい教育についてどういった環境が必要であるとか、そういったことを中心に考えながら皆様に意見を伺って進めていく。</p>
参加者	<p>八千代エンジニアリングに委託しているわけだが、どういう業務を委託しているか具体的に教えていただきたい。 また、今年度も八千代エンジニアリングに委託するのか。 市役所はどの様な仕事をするところかと思う。 市役所の皆さんは、市役所に入るときに、宣誓書にサインをして入っていると思う。宣誓書の中には、「私は、ここに主権が国民に存在することを認める日本国憲法を尊重し、かつ、擁護することを固く誓います。私は、地方自治体の本旨を体するとともに公務を民主的かつ能率的に運営すべき責務を深く自覚し、全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を執行することを固く誓います」、名前と捺印をして入っている。 今回の統廃合計画をつくるにあたり、主体は住民の意見であると思う。私達市民の想い、これからの子供たちの想い、このままとおったら、私たちの未来に対し冒涇であると思う。 自分たちのこれからの未来を決めることになるので、市役所に入った時に、全体の奉仕者として、住民自治を担う職員として働きますということを宣誓して入った、その初心を貫いてもらいたい。 それは私達上尾市民の幸せを約束することになるのでお願いします。要望である。</p>
教育総務課長	<p>八千代エンジニアリングの関係だが、平成31年度、令和2年度と別な入札を行って落札している。 内容としては、更新計画の策定支援業務というかたちで、本計画と基本方針を策定するにあたって、地域で行った会議のサポートや会議録の作成をしている。 今年度は計画を策定する業務ではなくて、計画の推進を支援する</p>

<p>参加者</p>	<p>業務として予算計上をしている。 内容は、三つのエリアに立ち上げる検討協議会の支援業務ということで、いろいろなアドバイスをもらったり、会議録作成などを行うような業務である。 検討協議会の立ち上げが未確定であるので、まだ入札は行っていない。今後指名競争入札のかたちで進んでいくと思う。</p> <p>会議録を作成したり、説明会を運営することや検討協議会の運営の助言をもらうとのことだが、市役所の職員はできないのか。 2,100万円くらいのお金をかけて、会議録の作成とか、それすらできないのか。 自分たちの頭で考えることが市民利益ではないのか。 なぜ、民間に委託するのか。 学校給食の民間委託は、決定事項である。不利な情報は小出しにして、自分たちに都合の良いデータだけだして説明会に臨むのは改めてほしい。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>委託内容だが大きく4つある。 一つ目が、学校施設の状況把握。 二つ目が、学校施設のあり方に対する検討。 三つ目が、学校施設更新計画基本方針の策定。 四つ目が、庁内会議等の運営であり、先ほどは4つ目を例として説明した。 一つ目の状況把握は、既存資料の分析、人口推計・予測の整備・分析、上位計画と関係を整理し、基本方針及び計画の位置づけと策定スケジュールの検討を行うための支援を行う。 二つ目のあり方の検討は、施設更新時の骨子となる学校施設のあり方について、更新コンセプトの検討や学校機能検討等について、助言や提案、基礎資料収集等の支援を行うというような内容である。 給食については、行革大綱の中に給食の民間委託との言葉が出てきているが、決定事項ではない。やり方について検討を行うことを位置付けているだけである。</p>
<p>参加者</p>	<p>この上尾市の基本計画の全てを八千代エンジニアリングに考えてもらって、進めていく訳である。</p>

<p>参加者</p>	<p>その仕様書をぜひ公表してもらいたい。仕様書について市議会、学校の説明会で説明してもらいたい。</p> <p>ひとつは是非 30 人学級のシミュレーションを示してほしい。子供たちのためになるという部分が削られている。施設の更新のために、学校という教育現場を大事にしなくてはならないことが削られている。</p> <p>学習指導を考えると、どうしても 1 対 1 で指導しないといけない部分がある。一斉授業では取り残されてしまう子供がでてくる。担任の先生は、これから複数になっていくかと思うが、今の子供たちは様々な環境で育っていて、一人一人が違う。</p> <p>学級の人数を少なくすること、複数担任制など、いろいろな方法があるかもしれない。そういう手立てがないと、統廃合をしても子供たちを育てるためには不十分な学校に終わると思うので、十分検討してほしい。</p> <p>I C T では個別の学習指導は難しいと思う。</p> <p>個別指導ができるように、今以上にやってほしいと思う。</p> <p>地元ではまちづくり協議が始まっているということだが、文科省は授業時間の 1 割を学校裁量にしている。</p> <p>その中では、歴史や文化、地域の特性、そういうことをテーマにして、その 1 割の時間を使うことができる。いろいろなテーマを決めて特色ある学校ということで申請を出せるのか。</p> <p>平方小がなくなり、広域の統廃合では、10%の授業時間を何に使うかとなる。特色ある平方地域ではなく、地域が広がると違うテーマを考えるかもしれない。</p> <p>そういうことを十分反映できるよう、平方小をなくさないよう案をまとめて欲しいと思う。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>資料 4 5 ページを 30 人学級でシミュレーションし、コストとクラス数をホームページの方で公開したいと思う。</p>
<p>指導課長</p>	<p>子供の学びの充実では、例えば、加配教員を申請して、少人数の展開を工夫している。引き続き工夫を行って充実させていきたいと思う。</p> <p>I C T についても、効果的な活用を追求しながら研究していきたいと思う。</p>

	<p>教育活動の弾力化については、地域は子供たちにとって学ぶ教材であるので、現在も非常に力をいれているところであるが、引き続き研究していきたいと思う。</p>
<p>参加者</p>	<p>45ページのグラフだが、現状維持した場合は約899億円市民一人あたり39.2万円、削減した場合は約725億円、市民一人あたり31.7万とある。</p> <p>35年計画ということで、1年あたり市民の負担は2,142円だけである。学校設備や防災設備を残したり、子供のためを考えると、一人1年あたり約2,100円で維持できるのは安いのではと感じるがどうか。</p> <p>長寿命化の技術は進化していて、最高80年も可能というデータも出ている。できるだけ長寿命化した上で必要な学校から改築するとか、少ない学校で統合する計画でやった方がコスト的に安くなる可能性も出てくる。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>貴重な意見として受け止める。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>